

【ACKグループ 人材確保へベア実施 野崎社長表明 事業会社単位で順次】

ACKグループ

人材確保へベア実施

野崎社長 表明 事業会社単位で順次

ACKグループの野崎秀則社長は26日、東京都内で開いた決算説明会で、今後の経営方針を明

らかにした。3カ年の中期経営計画で設定した業績目標の達成に向けて、

「受注高と売上高を伸ばせば利益はついてくる。そのために必要な投資もしている」と強調。受注拡大の前提条件として、陣容を一段と厚くする必要があることから、人材確保のために事業会社単位で「ベースアップ（ベア）を計画的に進める」との考えを明らかにした。

グループの中核会社であるオリエンタルコンサルタンツは、9月に平均約3%のベアを実施済みという。

同社は、現在進行中の中期計画で、9月末時点で1760人だった社員数を17年9月までに270人増員し、グループ全

体で2000人を超える体制にする目標を設定している。

同社の14年9月期業績は、受注高、売上高、営業利益などが過去最高を記録した。今後、海外や国内民間分野の事業を拡大し、主力の国内公共分野で追い風に乗るには、計画通りの増員数を確保することが必要。産業間や建設コンサルタント業界の企業間で新卒・中途とも採用競争は激化しており、人材獲得には賃金などの処遇改善が不可欠と判断した。

オリコンサルは基本給引き上げに合わせ、新卒初任給も1万円程度アップさせる。今後、他の事業会社も業績を見ながら順次ベアを実施していく考えだ。

受注拡大では、国内公共・民間両分野でインフラ保全、防災・減災、地域活性化関連業務を主なターゲットにする。政府が進める「地域創生」について野崎社長は「関連する仕事は確実に増える」と指摘。経営資源を重点的に充てて事業の拡大を図る方針を示した。



野崎社長